

1. 事業の位置付け		2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
施策No.	個別事業概要	実施主体	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	課題・方向性
1-1 1-2 1-3 1-4 1-5 1-6 1-7	スポーツ普及事業の開催	平塚市体育協会 平塚市体育振興連絡協議会 平塚市スポーツ推進委員協議会 平塚市レクリエーション連盟 平塚市スポーツクラブ連合 平塚市まちづくり財団 スポーツ課	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業(後援)	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる健康・体力づくりを推進するための機会を提供することで、健康で明るいまちづくりに寄与するため、総合公園全施設を利用してスポーツ体験教室等を実施します。	第4回開催 平成29年3月26日(日) 会場 平塚市総合公園 参加種目団体 36団体 教室参加者・見学者 3568名 役員・関係者 516名	トップアスリートを活用しながら体験教室を主体としたイベントで、市民のスポーツへの興味・関心を高め、様々な種類のスポーツをする機会を提供できた。本市のスポーツ振興、市民の健康づくりに寄与した。	継続 ※左記の判断理由
2-1	ビーチスポーツ普及事業の開催	みどり公園・水辺課	各種ビーチスポーツ体験会の開催(ビーチバレー、ビーチラグビー、ビーチテニス、ライフセービング等)	青少年の健全育成とビーチスポーツの普及、新たな海岸利用の提案するため、各種ビーチスポーツ体験会を開催します。	ビーチバレー等のビーチスポーツ体験会が開催されました。	各回とも30名程度の参加があり、新たなスポーツに接する機会を提供することができました。	継続 相模湾岸でも数少ないビーチスポーツの拠点として、今後ともビーチスポーツに接する機会の提供と普及に努めていきます。
2-2	ビーチスポーツ普及事業の開催	スポーツ課	各種ビーチスポーツ体験会の開催(ビーチバレー、ビーチラグビー、ビーチテニス、ビーチサッカー、ライフセービング等)	青少年の健全育成とビーチスポーツの普及、新たな海岸利用を提案するため、各種ビーチスポーツ体験会を開催します。	補助金交付、名義後援等	補助金の交付、名義後援等による支援を行い、間接的に、大会の開催や大会を観戦できる機会を提供することに寄与した。	継続 補助金交付による支援は終了とするが、今後、大会の開催にあたり、人的、物的支援等検討しながら、継続する。
3	運動体験教室	健康課	腹囲マイナス教室、糖尿病予防教室	生活習慣病予防のために、運動の実践を通して生活習慣の改善を図り、運動習慣を身につける。	腹囲マイナス教室6日間全4クール24回開催 参加者延399名 糖尿病予防教室3日間全2クール6回開催 参加者延88名	教室に参加することで、運動の楽しさや気持ちよさを感じてもらえた。また、教室終了時点で、運動習慣及び生活習慣の改善がみられた参加者が6割以上だった。	事業縮小 腹囲マイナス教室は定員に満たないクールがあったため、3クールに減らし開催する。糖尿病予防教室は前年度同様に継続する。
4	健康づくり推進事業	健康課	健康づくり推進事業	市民の健康づくり運動を推進するための事業や活動を実施する	健康ウォーキング10回開催 参加延人数668人 くすのき体操(講習会等)165回開催 参加延人数3,349人 体力チェック9回開催 参加延人数1,091人	委託契約で決めている設定以上の回数を実施でき、継続しての参加が可能で、多くの参加者があった。	継続 前年度に引き続き継続の予定で、市民に幅広く普及できるよう現状維持していきたい。
5	健康推進員養成講座	健康課	健康推進員養成講座	市民が健康づくりの重要性を理解し、自主的に活動するために必要な知識・技術を学習する。12回のコースで実施。	養成講座全12回開催。参加実人数10名、延人数92名。	「自分たちの健康は自分でつくり、守る」という地域での健康づくり活動の動機づけを広く行うことができた。	継続 前年度に引き続き、講座の開催を周知し、健康推進員を養成していく。
6	健康推進員育成講座	健康課	健康推進員スキルアップ講座	健康推進員が地域において健康づくり活動のリーダー的な役割を担い、地域において活動を推進することを目的とする。	スキルアップ講座全6回開催。参加延人数66名。	地域で安全に健康づくり活動を行うために必要な知識・技術を多くの参加者が習得できた。	継続 前年度に引き続き、健康推進員の活動において、地域で安全にウォーキングや体操、体力測定を実施していくための知識・技術の普及を行っていく。
7	地域健康づくり活動支援プログラム	健康課	地域健康づくり活動支援プログラム	地域の健康づくりを目的として活動しているグループに対し、教育を実施し、健康づくりに関する知識や技術の向上を図ることを目的とする。	全10回実施。参加延人数284名。	地域で安全かつ効果的な健康づくりを実践するための知識・技術を普多くの参加者が習得できた。	継続 前年度に引き続き、地域で安全かつ効果的な健康づくりを実践するための知識・技術を普及していく。

8	地域健康づくり支援事業	健康課	地域健康づくり支援事業	市民団体及びグループ等からの依頼に応じて、健康教育・健康相談等を実施し、健康づくりの知識・技術の向上を図る。	全12回実施。参加延人数684名。	企業からの依頼もあり、広く健康づくりの知識・技術の普及に寄与することができた。	継続	前年度に引き続き、より多くの市民に健康づくりの知識・技術を普及し、自身の健康を考えるきっかけを増やしていく。
9	公民館における自主事業等	中央公民館	公民館における自主事業等	スポーツに親しむ機会を市民に提供するため、公民館主催の自主事業・家庭教育学級・高齢者学級等の事業を実施します。	103事業、延8,897人が参加。	横浜ビー・コルセアーズ選手から教わる親子バスケットボール教室や親子を対象とした全国トップクラスの指導者から走り方などを教えてもらう陸上教室、高齢者向けのニュースポーツの体験教室など、年代に合わせた学習機会を提供しました。	継続	実施にあたっては、地域のスポーツ推進員など地域の講師を積極的に活用します。
10	市民総合体育大会・各種スポーツ大会	スポーツ課	市民総合体育大会・各種スポーツ大会の開催	スポーツを愛好する多くの市民にスポーツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて健康明朗な心身の育成を図ると共に、住民相互の親睦を図るため、地区体育振興会単位の対抗戦形式での市民総合体育大会や各種スポーツ大会を開催します。	第65回市民総合体育大会夏季(3795名)・ニュースポーツ(316名)、駅伝競走大会(40チーム)	体力・技術の向上、地域交流、仲間づくりなどのスポーツによる効果を得ることができ、「する」「観る」「支える」スポーツとしての機会を提供できた。	継続	スポーツをする機会の提供として、継続して実施を行っていく。
11	市民体育レクリエーション地区大会	中央公民館	市民体育レクリエーション地区大会	スポーツ、レクリエーション活動の向上と健康の増進を図るとともに、地域住民相互の親善と交流を深め、明るい地域づくりの推進を図るため、各地区でレクリエーション大会を実施します。	全26会場にて実施し、延20,719人が参加。	今年度は天気の影響から体育館での実施となった会場が多かった為、昨年度比664人減となりました。しかし、幼児から高齢者まで様々な世代が参加できる競技種目を実施したため、地域住民の交流と健康の増進に寄与しました。	継続	多くの地域住民が参加できるよう、今後も多彩な競技種目を実施していきます。
12	スポーツ教室・健康講座	平塚市まちづくり財団	スポーツ教室・健康講座	市民が生涯にわたるスポーツに親しむため、スポーツ教室を実施します。又、運動習慣を開始・継続するための教室を実施します。	財団主催スポーツ教室42事業 参加者8,679人(子どもを対象とした事業を除く。)	定員数に応じた参加者があり、参加者の楽しんでいる様子も窺えスポーツを親しむ機会を提供できた。	事業拡大	スポーツを親しむ機会を提供するために今後も継続する。
13	手話ダンスによる健康づくり事業	スポーツ課	手話ダンスによる健康づくり事業	手話を取り入れたエンターテインメントグループの「HAND SIGN」と連携し、子どもから高齢者、障がい者が健康で、いつまでもいきいきと暮らし続けられるまちづくりを目指し、運動・スポーツ活動のきっかけづくりとするため、手話ダンスを活用した事業を実施します。	・手話ダンスグループ「HAND SIGN」による公演 年3回 ・ワークショップ(手話ダンス教室) 年24回(3クール) 参加者 延べ1,160人 ・指導者育成ワークショップ 年8回(1クール) 参加者 延べ156人 ・ワークショップ受講者による成果発表 年7回	HANDSIGNによる公演やワークショップの開催など、手話ダンスを通して健康づくりに寄与できた。	継続	普及啓発のため、七夕公演に加え、小学校での講演会を実施する。
14	スポーツボランティア登録制度の創設	スポーツ課	平塚市スポーツボランティア制度運営事業	市民の誰もが生涯にわたってスポーツを楽しむ、いつまでもいきいきとした生活が送れるよう、支えるスポーツの観点からスポーツボランティアの普及及び活動の促進を図るため、スポーツボランティア登録制度を運用します。	今年度の登録者は1名であり、制度の運営には至らなかった。	登録者は1名にとどまり、活用するまでには至らなかった。	継続	周知の方法、制度の在り方等を含め、利用者が効果的に利用できるように制度の充実に努める。
15	スポーツボランティアの活用	スポーツ課	スポーツボランティア活動事業	スポーツボランティア活動の機会を提供するため、市が開催するスポーツ大会などにスポーツボランティアを活用します。	市ホームページへの掲載、平塚市体育協会各団体、各地区公民館等へ周知を行った。	申請件数は0件であり、活用するまでには至らなかった。	継続	関係団体での枠数を定める等、人員の確保を先決とし取り組んでいく。
16	ミニミニ運動会	保育課	ミニミニ運動会	主に開放保育参加親子を対象として、親子の交流・ふれあいを深めるため、運動会を実施します。	4回開催し児童148人、保護者148人が参加	保護者と乳幼児のふれあいを深めることができた。	継続	毎年多数の参加者があり、ニーズは高いと考えている。

17	親子で遊ぼうフェスティバル	保育課	親子であそぼうフェスティバル	未就学児の子どもとその保護者を対象として、体操やふれあい遊び、人形劇等を行う。	208組計548人の親子が参加してイベントを開催した。	保護者と乳幼児のふれあいを深めることができた。	継続	毎年多数の参加者があり、ニーズは高いと考えている。
18	計画訪問	教育指導課	幼稚園・小中学校訪問	指導力の向上を図るため、授業研究を通して、教育指導のあり方や実施上の諸課題などについて研究協議します。	中学校で行われた体育理論の授業に、市内の15校の中学校より14名の保健体育科教員が参加した。	研究協議を深めることができ、指導力の向上を図ることができた。	継続	教員の指導力向上のために、今後も継続していく。
19	中学校部活動研究推進協議会	教育指導課	中学校部活動推進事業	部活動の諸課題を解決するため、中学校部活動あり方検討会の報告をもとに、具体的取り組みについて研究の実践を行います。	平成28年6月21日に実施。部活動の活性化についての協議を行った。	部活動の活性化のために必要なことについて協議し、方向性について検討することができた。	継続	部活動の活動内容に充実のために、今後も継続していく。
20	中学校部活動指導者派遣事業	教育指導課	中学校部活動推進事業	中学校における部活動育成及び活性化のため、各学校の要請に応じて専門的資質を有する地域指導者を運動部及び文化部顧問の指導協力者として派遣します。あわせて地域指導者に対する講習会を実施します。	地域指導者派遣期間は平成28年4月1日から平成29年2月28日。延べ100人の地域指導者が総計6,900単位時間活動。	学校の顧問不足や放課後の会議等で指導時間の確保ができない顧問が多い中、生徒の意識の向上、より高い技術指導の提供等の面で大変に有効であった。	継続	生徒の意欲向上さらには高い技術指導の提供のために、今後も継続していく。
21	中学校全国・関東大会等出場者激励事業	教育指導課	中学校全国・関東大会等出場者激励事業	心身ともに健全な中学生の育成のため、全国・関東大会及びこれに準ずる大会・コンクール等に出場する中学生を激励します。また、激励金を交付し活動を支援します。	運動部については、関東大会出場者34人に対し、68,000円を支給した。また、全国大会出場者14人に対し、70,000円を支給した。	全国・関東大会に出場する生徒の激励をすることができた。また、激励金については、大会参加時の支度金として有意義に活用されている。	継続	全国・関東大会に出場する選手を激励するために、今後も継続していく。
23	少年少女スポーツ大会	スポーツ課	少年少女スポーツ大会	スポーツを通じて青少年の健全育成を図り、授業以外での運動習慣をつける機会を提供するため、野球・水泳・剣道・マラソン大会を実施します。	28年度実績 (1) 少年野球大会 7月22日～7月31日 729名 (2) 少年少女水泳大会 8月7日 270名 (3) 少年少女剣道大会 10月16日 212名 (4) 少年少女マラソン大会 3月18日 339名	各種スポーツ大会をとおして、心身の健全育成に寄与するとともに子どもたちにスポーツをする機会の提供ができた。	継続	スポーツをするきっかけづくりや、日頃の練習の成果を発揮する大会として目標になっていることから、参加しやすい工夫をするなどして、今後も継続していく。
24	小学校プール開放事業	スポーツ課	小学校プール開放事業	児童の心身の健全な育成と体力の向上を図るため、夏季休業中の小学校のプールを開放する。	平成28年度利用者数：15,460人	夏季休業中の市内28校の小学校プールを各校7日間開放した。天候にも恵まれ多くの児童の利用があったが、昨年に比べ利用日数を減らしたため全体の利用者数としては前年度に比べ減少する結果となった。	継続	今後も継続していく方向だが、プール開放のあり方も同時に検討する。
25	市民総合体育大会・各種スポーツ大会(再掲)	スポーツ課	市民総合体育大会・各種スポーツ大会の開催	スポーツを愛好する多くの市民にスポーツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて健康明朗な心身の育成を図ると共に、住民相互の親睦を図るため、地区体育振興会単位の対抗戦形式での市民総合体育大会や各種スポーツ大会を開催します。	第65回市民総合体育大会夏季(3795名)・ニュースポーツ(316名)、駅伝競走大会(40チーム)	体力・技術の向上、地域交流、仲間づくりなどのスポーツによる効果を得ることができ、「する」「観る」「支える」スポーツとしての機会を提供できた。	継続	スポーツをする機会の提供として、継続して実施を行っていく。
26	子どもを対象としたスポーツ教室・健康講座	平塚市まちづくり財団	子どもを対象としたスポーツ教室・健康講座					

30	地域運動教室支援事業	高齢福祉課	地域介護予防活動支援事業(運動教室)	住民主体のサロン等支援	開催実施回数51回、参加者延べ数1122人	参加者の満足度は満たされていると感じるが数字で評価しづらい	継続	今後も継続して住民主体のサロン等を支援するため、講師等を派遣し健康チャレンジの推進を実施する
31	ゆめクラブ湘南平塚スポーツ大会	高齢福祉課	老人クラブ支援事業	スポーツを楽しむことを通じて高齢者の生きがいの高揚を図るとともに社会との連帯感を養成し、もって高齢者福祉の向上を図るため、ゲートボール競争等気軽に楽しめる種目のあるスポーツ大会を実施します。	参加者1400人	高齢者の生きがいづくりや交流、健康の保持増進に役立った。	継続	スポーツをするきっかけづくりのため、競技種目を検討し継続する。
32	ゆめクラブ湘南平塚グラウンドゴルフ大会	高齢福祉課	老人クラブ支援事業	競技を通し友好と連帯を深めつつ、お互いに生きがいと健康の保持増進に役立て、高齢者の福祉の発展に寄与するため、グラウンドゴルフ大会を実施します。なお、湘南ブロック老連予選会を兼ねます。	参加者180人	高齢者の生きがいづくりや交流、健康の保持増進に役立った。	継続	高齢者の健康保持に加え、湘南ブロック老連ニュースポーツ交流のつどいグラウンドゴルフ大会の予選会を兼ねているため、継続する。
33	障がい者スポーツ大会などへの参加支援	障がい福祉課	障がい者スポーツ大会などへの参加支援	障がい者に対する市民の理解を深め、障がい者の社会参加を促進するため、各種障がい者スポーツ大会への参加を支援します。	ボウリング 3名 フライングディスク 41名(中止) 陸上競技会(知的) 19名 陸上競技会(身体) 31名 卓球・STT 28名 水泳競技会 4名	参加者の健康維持に寄与した。	継続	障がい者である市民の方の健康維持はもちろんのこと、職員にとっても障がい者である市民の方との交流業務のため継続して行う。
35-1 35-2	地区体育振興事業	平塚市体育振興連絡協議会 スポーツ課	地域のスポーツ活動委託事業	地域住民のスポーツ活動を推進するため、各地区体育振興会に委託し、地域に即応したスポーツ行事を開催します。	地区体育振興会において114事業(参加者9275名)を実施しました。	各地区において様々なスポーツ事業を実施し、地域住民のスポーツ活動の促進に寄与した。	継続	地区体育振興会は各地区単位で組織された団体であり、地域のニーズに応じた地域スポーツの推進を図るためには、当団体へ委託し事業を継続することが適当であるため。
36-1 36-2	スポーツ普及員の検討	スポーツ課	スポーツ普及員の創設	地域でスポーツの普及を担う人材を確保するため、スポーツ普及員の創設に向けた検討を行います。	スポーツ普及員の創設の検討段階のため、実績なし。スポーツ普及員認定制度(案)として、制度の方向性は確定。	スポーツ普及員の創設の検討段階のため、評価なし。	継続	スポーツ普及員認定制度(案)として、概要、方向性は確定しているため、詳細について、スポーツ推進審議会で検討し、制度を開始していく。
37-1 37-2	市民活動団体などとの協働	協働推進課 スポーツ課	市民活動団体などとの協働事業	行政が抱える課題や地域課題を解決するため、市民活動団体と行政が協働して事業を実施します。	平成26年度からスポーツに関する2事業を実施 ①市内スポーツ情報ポータルサイト構築運営事業 ②小中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業	市民活動団体と行政がお互いのノウハウを活かしながらそれぞれの事業に着手し、事業展開が図られている。	継続	①市内スポーツ情報ポータルサイトについては、サイトの構築は協働事業期間に概ね完了したため、今後はサイトの運営事業として継続して実施していく。 ②小中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業については、大学交流事業として、小学校1校で月2回継続して実施していく。
38-1 38-2	スポーツ推進委員研修会	平塚市スポーツ推進委員協議会 スポーツ課	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、スポーツ推進委員協議会が委員に向けた研修会を開催。	年5回実施(参加者数 延べ363人) (トリムバレー研修2回・囲碁ボール研修1回・ボッチャ・ファミリーバドミントン研修2回)	年5回の研修会を実施し、スポーツ推進委員の知識と技能の向上を図ることができた。また、昨年よりも参加者数が増加し、各委員の意識の向上が見られた。この研修会で培った経験を各地区のスポーツ・ニュースポーツ大会や市内でのスポーツイベント等で発揮し、普及・発展に寄与している。	継続	スポーツ推進委員が各地区住民にスポーツ・レクリエーションに関する指導・助言を行う上で有効な事業のため、引き続き継続していく。
39-1 39-2	県スポーツ推進委員研修会などへの派遣	平塚市スポーツ推進員協議会 スポーツ課	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員の資質向上を図るため、県スポーツ推進委員連合会や西湘ブロックなどの研修会に委員を派遣します。	全国・関東・県・西湘ブロック研修会に延べ50名が参加	各研修会や研究会に委員が参加し、実技指導及び座学を受けたことにより、委員の技能や知識向上を図ることが出来た。	継続	スポーツ推進委員が各地区住民にスポーツ・レクリエーションに関する指導・助言を行う上で有効な事業のため、引き続き継続していく。

40	総合型地域スポーツクラブの相談窓口の設置	スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの相談・支援事業	総合型地域スポーツクラブの新設や運営等の相談・支援を行うため、相談窓口を設置します。	市内の創設済みクラブ(3クラブ)、創設準備中クラブ(1クラブ) 特に、創設準備中クラブについては、県の所管課と連携し、視察やヒアリング等の相談を実施した。	活動の実績等の把握、新規事業への視察等を実施し、情報提供を実施した。	継続	県の所管課や各種関係団体のパイプ役として、身近な相談窓口として必要なため、継続して実施する。また、創設準備中クラブについては、本年度より創設クラブとして活動を実施していく予定である。
41-1 41-2	平塚市中学生陸上競技教室	東海大学 スポーツ課	平塚市民・大学交流事業【スポーツ訪問団】「平塚市中学校陸上競技教室」	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	市内在住・在学の中学生470名が参加	全国でもトップクラスの成績を誇る東海大学陸上競技部の直接指導を受けることができ、また指導者の知識を得る場ともなっている。また、地域と大学の連携・発展へも寄与した。	継続	参加者アンケートにおいて「満足」「少々満足」の割合が96%を超えている。大学生の現役選手の直接指導は参加者にとっても良い機会であり、今後も継続する。
42-1 42-2 42-3	平塚市民・大学スポーツ交流フェスタ	東海大学 神奈川大学 スポーツ課	2016 平塚市民・大学スポーツ交流フェスタ	スポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資することを目的とする。	平塚市ロードレース大会を開催。また、スポーツ教室として「中学生卓球教室」と「小学生サッカー教室」「ニュースポーツ体験」を開催。参加者延べ755名が参加	例年、多くの参加者があり対象者の生涯スポーツの普及に寄与している。また、大学・トップスポーツ・行政の連携、地域貢献にも寄与した。	継続	多数の参加者がいるため、生涯スポーツの普及振興のため、継続していく。
43-1 43-2	東海大学との協働による小中学校体育施設個人開放事業	東海大学 スポーツ課	平塚市立小・中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業	市民が身近な体育施設でスポーツをする場を提供するため、東海大学地域スポーツクラブと協働して、小・中学校体育施設を個人でも利用できるよう開放します。	小中学校の体育館を利用して、一人でも利用できる個人利用の日を設けた。 開放校 金目中学校 年10回 みずほ小学校 年9回 中原中学校 年10回 参加者 延べ436人	身近な体育施設を個人でも利用できることにより、スポーツを実施する機会が増えた。	継続	大学交流のうちスポーツ課の事業として実施する。開放校数を減らし、同校で月2回開催する。バラスポーツ体験を行うなど、内容の向上を図る。
44-1 44-2	競技力強化事業	平塚市体育協会 スポーツ課	競技力強化委託事業	国体選手の養成、本市体育協会関係選手の強化育成を図るため、平塚市体育協会に競技力強化事業として委託します。	平塚市体育協会所属の加盟団体が、選手強化に繋がる指導者講習会、大会、教室事業等を開催し、国体選手養成や体育協会関係選手の強化育成を実施することが出来た。国体出場選手19名(冬0名、夏19名)	平塚市体育協会加盟の選手が全国規模の大会で活躍するなど、トップアスリートを輩出する環境づくりに寄与した。	継続	全国大会等へ、多くの出場選手を輩出していることから、今後も継続する。 ※参考 平塚市体育協会全国大会支援金件数 3競技 5件 28名
45-1 45-2	市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会などへの選手派遣	平塚市体育協会 スポーツ課	選手派遣事業	駅伝大会を通じて市町村相互の交流や競技力の向上を図るとともに、健康、明朗な心身の育成を図るため、かながわ駅伝に選手を派遣します。	11名の選手を派遣し、成績は12位	選手選考、練習、大会参加を通じて、市町村相互や世代を超えての交流、競技力の向上を図ることが出来た。	継続	選手選考、練習、大会参加を通じて、市町村相互や世代を超えての交流、競技力の向上を図ることが出来るため、継続して実施する。
46-1 46-2	スポーツ優秀選手表彰	平塚市体育協会 スポーツ課	平塚市スポーツ優秀選手表彰	スポーツへの興味関心を高めるとともにスポーツの競技会において優秀な成績を収めた選手等の栄誉をたたえるため、スポーツ優秀選手として表彰します。 ※平塚市スポーツ優秀選手表彰規定	平成28年度平塚市スポーツ優秀選手 個人 15名 団体 2団体	スポーツをする人にとっての目標になるほか、スポーツへの夢や感動、誇りや喜びなどに繋がることに寄与している。	継続	スポーツ優秀選手として推薦のあった個人、団体については、推薦内容等をよく精査し、決定することとする。継続事業とする。
46-3	スポーツ優秀選手表彰	平塚市まちづくり財団	スポーツ団体等に対する支援事業	優秀な成績を収めた選手等を讃えるため、スポーツ優秀選手として表彰します。	平成28年度平塚市スポーツ優秀選手(財団) 個人 16人 団体 2団体	スポーツをする人にとっての目標になるほか、スポーツへの夢や感動、誇りや喜びなどに繋がることに寄与している。	継続	表彰対象者にとっての活力となるよう、今後も継続する。
47	体育功労者表彰	スポーツ課	体育功労者表彰	地域または職域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、体育の振興に顕著な成果をあげた体育関係者及び社会体育団体を讃えるため、体育功労者として表彰します。	平成28年度神奈川県及び平塚市体育功労者 平塚市体育功労者 7名	スポーツの普及発展に貢献し、本市体育・スポーツの振興に寄与した。	継続	表彰対象者にとっての活力となるよう、今後も継続する。

48-1	支援金の交付	平塚市まちづくり財団	スポーツ団体等に対する支援事業	市民が生涯にわたってスポーツ活動を継続できるようにするため、全国大会等で優秀な成績を収めた選手等に支援金を交付します。又全国大会出場者に記念品を贈呈します。(小・中・高生対象)	関東8件(個人7件 団体1件)、全国46件(個人40件、団体6件)、国際11件(個人11件)計 65件 全国大会出場記念品 個人 13件	スポーツ優秀選手等がスポーツ活動を継続することに寄与している。	継続	スポーツ活動への持続に効果があることから継続する。
48-2	支援金の交付	平塚市体育協会	全国大会等出場選手等支援金交付事業	平塚市体育協会加盟団体に所属する者が、全国大会等に出場する場合に支援金を交付します。	平成28年度交付実績 3競技 5件 28名 (卓球・水泳・バドミントン)	全国大会等出場選手に支援金を交付することで、選手の育成に寄与した。	継続	全国大会等出場を目指す選手の活力となるよう、今後も継続する。
49	会場使用料の援助	平塚市まちづくり財団	スポーツ団体等に対する支援事業	市民が生涯にわたってスポーツ活動を継続できるようにするため、市内スポーツ団体が主催する一般市民を対象としたスポーツ大会の会場使用料を援助します。	会場使用料援助4件	スポーツ団体がスポーツ大会を継続して開催できることに寄与している。	継続	スポーツ活動への持続に効果があることから継続する。
50-1 50-2	平塚市体育協会の法人化に向けた支援	平塚市体育協会 スポーツ課	平塚市体育協会の法人化に向けた支援	平塚市体育協会の自主的な活動を推進するため、法人化に向けた支援を行います。	法人化を検討するため、平塚市体育協会総務委員会への資料提供や相談、事前調査を実施。	法人化については、関係団体との調整等、確認、検討する部分が多いが、体育協会役員会や総務委員会開催等により、平塚市体育協会内の現状把握をすることが出来た。	継続	平塚市体育協会内の意見集約、事前調整を行い、また、関係団体とも調整の上、今後も法人化について検討する。
51-1 51-2	小学校体育巡回授業、幼稚園・保育園巡回教室	湘南ベルマーレ スポーツ課	小学校体育巡回、幼稚園、保育園巡回教室補助事業	湘南ベルマーレの指導者がサッカーの楽しさを伝えとともに、協調性などの人間力向上を図るため、小学校巡回授業や幼稚園・保育園巡回教室の実施に対し補助金を交付します。	小学校10校 計870名 幼稚園・保育園7園 計195名	湘南ベルマーレのコーチによる、サッカーやボールを用いた運動の指導を受けることにより、スポーツへの興味・関心も持つ、また、団体活動・集団活動を通じて礼儀や協調性などの人間性の向上にも寄与した。	継続	事業効果やニーズも高いことから継続して実施していく。
52-1 52-2	平塚市トレーニングセンターへの指導者派遣	湘南ベルマーレ スポーツ課	平塚市トレーニングセンター指導者派遣事業	補助金交付を通じて、ジュニアサッカー選手育成のため、優れた指導力を備える湘南ベルマーレの指導者を平塚市トレーニングセンターに派遣します。	中学生 60名 延べ720名 小学生 77名 延べ2,503名	Jリーガーの輩出実績とともに、選手同士の交流や指導を受けた選手が各チームの模範選手となるなど、市内育成年代のサッカー競技力向上や人間性の向上にも寄与した。	継続	事業効果やニーズも高いことから継続して実施していく。
53-1 53-2	サッカースクール	湘南ベルマーレ 総合公園課	①親子サッカー教室 ②レディースサッカー教室 ③未就園児親子スポーツ教室	未就園児や幼稚園児とその保護者及び女性が身体を動かすことに楽しさ、大切さを実感するとともに、スポーツの振興を図るとともに施設利用を拡充するため、サッカー教室やスポーツ教室を実施します。	①32回 延べ736組 ②16回 延べ237人 ③16回 延べ309組	多くの参加者がありサッカーを通じてスポーツの振興が図れた。	継続	湘南ベルマーレのノウハウを活用することで魅力的な事業を展開できることから、今後も継続していく。
54-1 54-2	小学生無料招待事業(ドリームパスポート)	湘南ベルマーレ 総合公園課	ドリームパスポート事業	プロという質の高いスポーツに触れる機会を提供し、スポーツへの興味・関心を高めるとともにスポーツを楽しめるまちを推進するため、総合公園で行われるプロスポーツ(湘南ベルマーレ、横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズ)の試合に、市内在住小学生を無料招待します。	パスポート利用者数 延べ5,019人	ドリームパスポートを通じてスポーツへの興味や関心を高めるとともに、スポーツを楽しめるまちの推進に寄与した。	継続	小学生が無料でプロの試合を観戦できるこの取り組みは、平塚市独自のものであり、スポーツを楽しめるまちとして、小学生のスポーツへの興味・関心をさらに高めるために今後も継続する。
55-1 55-2	湘南バイシクル・フェス	湘南ベルマーレ 事業課	湘南バイシクル・フェス2016Xmas	地域住民の健康づくりを「自転車」をキーワードに様々な視点から提案する。主な内容として、スポーツ自転車の展示・試乗会、ステージイベント、自転車の初心者教室、競輪選手によるデモレース等を実施。	H28年度 湘南バイシクル・フェス2016Xmas 来場者4900人	今回で11回目の開催を迎え、クリスマス前の時期に開催した。天候にも恵まれて来場者は4,900名を記録した。場内で自転車の試乗会や競輪選手のデモレースやファミリーや若者向けのステージイベント、自転車初心者教室等を行い、幅広い年齢層を競輪場へ呼ぶことができたことにより、自転車の普及、競輪事業の理解促進に寄与する事ができた。	継続	自転車のまち平塚、また競輪事業の理解促進に向け、今後も継続していく。

55-3	湘南バイシクル・フェス	平塚市まちづくり財団	湘南バイシクル・フェス2016Xmas	市民が生涯にわたりスポーツを親しむため、湘南バイシクルフェスでウィーラーズスクール(自転車教室)を実施します。	湘南バイシクル・フェス2016Xmas 平成28年12月10日 ウィーラーズスクール 95人		
56	スポーツ指導者登録制度の創設	スポーツ課	平塚市スポーツ指導者制度運営事業	市民の誰もが生涯にわたってスポーツを楽しみ、いつまでもいきいきとした生活を送れるよう支えるスポーツの観点から及びスポーツ水準の向上を図るため、スポーツ指導者登録制度を運用します。	平塚市スポーツ指導者登録者 4名 平成28年度スポーツ指導者登録者 男性3名 指導者派遣 1件	平塚市スポーツ指導者数はまだ少数だが、新規登録者3名の実績があった。そのうち、1件の派遣実績があったので、支えるスポーツの観点からのスポーツ水準の向上に寄与した。	継続 スポーツ指導者登録者の充実を図り、利用者がスポーツ指導者制度を効果的に利用できるような制度の充実に努める。また、新しい制度のため、運用しながら随時見直しを図る。
57-1 57-2 57-3	スポーツ指導者講習会	平塚市スポーツ推進委員協議会 平塚市スポーツクラブ連合 スポーツ課	平成28年度平塚市スポーツ指導者講習会	地域で活躍するスポーツ指導者の資質向上を図ることを目的とする。	「本番に強くなるためのジュニア世代のメンタルトレーニング」 平成29年2月開催。163名が参加	専門知識を学ぶよい機会となり、ジュニア世代の指導者の育成・技術向上に寄与した。	継続 受講者の多くが小中学生を指導している指導者のため、その点に留意し、講習内容・講師を十分に検討しながら継続する。
58-1	平塚市体育協会指導者講習会	平塚市体育協会	平塚市体育協会指導者講習会	平塚市民の生涯スポーツの普及・振興を図るとともに、指導者の養成並びに、選手の競技力向上を図る推進体制を確立する。	平成28年度実績 第1回「ジュニア期のスポーツについて」参加者55名 第2回「スポーツ文化とスポーツ振興について」参加者39名	平塚市体育協会加盟指導者の知識、技術のスキルアップに寄与した。	継続 指導者にとっての指導力の向上に繋がるので、今後も継続する。
59	スポーツ指導者の派遣先の募集	スポーツ課	スポーツ指導者の派遣先の募集	指導者の活躍の場を確保するため、指導者を求める団体やスポーツ愛好者を募集します。	日時 平成28年11月19日 派遣先 平塚市健康こども部健康課 内容 市民健康デイ「ほね元気ダンス教室」 音楽に合わせてエクササイズ 参加者 144人 講師 スポーツ指導者1名	1件の派遣実績があった。参加者も多く、参加者のニーズに合致したと思われる。登録者の充実と併せて、派遣先を募集していく。	継続 引き続き、指導者登録人数の充実と制度の周知を図り、継続していく。
60-1	トップスポーツの試合の招致・開催	みどり公園・水辺課	各種ビーチスポーツの全国大会、プロレベルの試合等の誘致	トップレベルのビーチスポーツに触れる機会を提供し、普及促進を図るため、ビーチスポーツの全国大会等を招致します。	ビーチラグビー・ジャパニーズ、ビーチバレー・ジャパニーズ、全日本スキムボード選手権大会が開催されました。	全国規模の大会が実施され、多くの観戦者があり、スポーツの興味関心を高めました。	継続 相模湾沿岸でも数少ないビーチスポーツの拠点として、今後とも質の高いレベルのビーチスポーツに接する機会の提供に努めていきます。
60-2	トップスポーツの試合の招致・開催	総合公園課	スポーツ大会招致	質の高いスポーツ観戦の場を提供し、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツを楽しめる街を推進するため、総合公園において、プロスポーツのほかさまざまな種目のトップレベルの大会を開催します。	川崎ブレブサンダース(Bリーグ3試合、NBL1試合)、全日本学生陸上個人選手権、オールスターナイト陸上、	これまで隔年開催だったオールスターナイト陸上を、毎年平塚で開催することとなった。オリンピック代表選手も出場し、質の高い大会となった。	継続 スポーツを楽しめるまちを推進するため、今後も大会の招致や開催を行う。
61	全国規模のスポーツ大会などの主催者への支援	スポーツ課	全国規模のスポーツ大会などの主催者への支援	市民のスポーツへの興味・関心を高めるため、広く市民が観覧できる全国規模のスポーツ大会などを開催する団体を支援します。	計、4団体の支援を実施 (公益社団法人日本学生陸上競技連合、実業団・学生対抗陸上競技大会、関東ビーチラグビー協会、全神奈川ろう社会人軟式野球連盟)	本市において、リオデジャネイロオリンピック日本代表選手も大会に出場するなど、トップレベルの大会が開催されたことにより、それを観戦した人のスポーツへの興味・関心や育成年代への喚起にも寄与した。	継続 市民へのスポーツを観る機会の創出のため、今後も継続して支援していく。また、大会の規模や市民からのニーズにより、支援団体の精査や見直しを併せて実施する。なお、補助金額については財政状況に応じる。
62-1 62-2 62-3 62-4 62-5 62-6 62-7	トップアスリートを活用したイベントの開催	平塚市体育協会 平塚市体育振興連絡協議会 平塚市スポーツ推進委員協議会 平塚市レクリエーション連盟 平塚市スポーツクラブ連合 平塚市まちづくり財団 スポーツ課	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業(後援)【再掲】	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる健康・体力づくりを推進するための機会を提供することで、健康で明るいまちづくりに寄与するため、総合公園全施設を利用してスポーツ体験教室等を実施します。	第4回開催 平成29年3月26日(日) 会場 平塚市総合公園 参加種目団体 36団体 教室参加者・見学者 3568名 役員・関係者 516名	トップアスリートを活用しながら体験教室を主体としたイベントで、市民のスポーツへの興味・関心を高め、様々な種類のスポーツをする機会を提供できた。本市のスポーツ振興、市民の健康づくりに寄与した。	継続 新しいイベントなので、市民への関心をより高めるため、また、市民のニーズを把握して、各種事業を改善しながら、継続事業とする。

63-1 63-2 63-3	横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズを活用したイベントの開催	横浜DeNAベイスターズ 横浜ビー・コルセアーズ 総合公園課	市内小学校選手訪問	スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツをすることの楽しさを知ってもらうため、プロスポーツで活躍する選手が市内小学校を訪問し、児童と直接触れ合いながらスポーツの魅力を伝えます。	学校訪問 延べ26校、参加児童延べ1,778人	児童がプロスポーツで活躍する選手と触れ合い、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツを観る・することの楽しさを知ってもらう機会を提供できた。	継続	プロスポーツ選手と直接触れ合う機会の提供は、児童にとって大変貴重な経験となり、スポーツ振興に大きく寄与するため今後も継続する。
63-4	横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズを活用したイベントの開催	スポーツ課	なし	スポーツを「観る」「する」につなげるために本市と関係のあるプロスポーツチームを活用した事業展開を検討します。	なし	なし	継続	庁内他課において、プロスポーツ団体を活用したイベントを実施しているため、スポーツ課事業としては廃止する。トップアスリートを活用したイベントとして、検討していく。
64	スポーツ施設の運営・管理	スポーツ課	スポーツ施設の運営・管理	スポーツをする場を提供するため、スポーツ施設を運営・管理します。	体育施設利用状況計581,599人 (桃浜町・軟式庭球場、王御住運動広場、小・中夜間照明施設、大神スポーツ広場、土沢多目的広場、土沢野球場、パークゴルフ場)	スポーツ課管理の体育施設の維持、管理、運営を行い、市民にスポーツする場を提供し、市民のスポーツをする機会に貢献した。	継続	市民の健全なスポーツ活動の普及発展のため、スポーツ施設を効率的に維持・管理・運営を継続していく。
65-1	有料公園施設の運営・管理	みどり公園・水辺課	効率的な施設の運営・管理	スポーツを楽しんでもらう場を提供するため、湘南海岸公園内のフットサルコートの利用貸出を行います。※利用形態：2時間1単位【市内】900円、【市外】1,800円	屋外専用フットサル場として、市で行っている唯一の施設で安価でフットサル愛好家に提供しています。	フットサル愛好家にフットサルをする場の提供ができた。平日の利用率は低いが、土日祝の利用率は高い。	継続	利用者にとって安全で快適な利用ができるような運営・管理を継続する。
65-2	有料公園施設の運営・管理	総合公園課	効率的な施設の管理・運営	市民がスポーツを「する」「観る」場の提供のため、スポーツ施設を効率的に管理・運営します。	利用者数延べ1,497,311人(有料公園施設。馬入ふれあい公園含む)	スポーツを「する」「観る」場の提供ができた	継続	利用者が安心して快適に利用できる場所をして今後も管理・運営を行う。
66	学校体育施設開放の個人利用の促進	スポーツ課	平塚市立小・中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業	市民が身近な体育施設でスポーツをする場を提供するため、東海大学地域スポーツクラブと協働して、小・中学校体育施設を個人でも利用できるよう開放します。	小中学校の体育館を利用して、一人でも利用できる個人利用の日を設けた。 開放校 金目中学校 年10回 みずほ小学校 年9回 中原中学校 年10回 参加者 延べ436人	身近な体育施設を個人でも利用できることにより、スポーツを実施する機会が増えた。	継続	大学交流のうちスポーツ課の事業として実施する。開放校数を減らし、同校で月2回開催する。パラスポーツ体験を行うなど、内容の向上を図る。
67-1	指定管理者制度の活用	みどり公園・水辺課	ビーチセンターへの指定管理者の導入	効率的な施設の運営・管理に努めるため、ビーチスポーツ等のノウハウをもつ指定管理者を導入します。	各種ビーチスポーツの大会誘致や体験教室を開催し、施設の活用と普及に努めています。	夏期を中心に施設の活用、ビーチスポーツの普及には資していますが、シーズンオフの運営については工夫が必要です。	継続	今後とも、指定管理者のノウハウを活かした施設の運営・管理に努めていきます。
67-2	指定管理者制度の活用	総合公園課	馬入ふれあい公園指定管理	コストを削減し効率的な管理運営を行うため、馬入ふれあい公園の管理運営業務について、指定管理者制度を導入します。	馬入ふれあい公園指定管理事業者を選定し、施設の運営・管理に努めた。	管理運営上での様々な事務改善がなされ、効率的な運営が実施できた。	継続	今後も民間企業のノウハウを活用した効率的な管理運営が期待されるため継続する。
67-3	指定管理者制度の活用	スポーツ課	指定管理者制度の活用	市民サービスの向上と効率的な施設運営を図るため、指定管理者制度を活用します。	桃浜町庭球場・軟式庭球場・大神スポーツ広場及び湘南ひらつかパークゴルフ場・土沢野球場・土沢多目的広場の管理・運営に努めた。	体育施設の維持、管理、運営を行い、スポーツを楽しむ環境づくりに寄与した。	継続	今後も民間企業のノウハウを活かして効率的な管理運営に努めていく。

68	公民館附属体育館の運営・管理	中央公民館	公民館附属体育館の運営・管理	市民にスポーツの場を提供するため、市内5館に併設された公民館附属体育館の管理・運営を行います。	延6, 211回 ・ 延117, 397人が利用。	平成27年度から新規団体が利用に参入できるよう予約可能な回数を変更しましたが、全体の利用団体数としては減少しました。	継続	地域体育館の利用について、市ホームページや公民館だよりにて、積極的に周知を行います。
69	未利用地所有者との調整	スポーツ課	未利用地所有者との調整	市民がスポーツに取り組む場所を増やすため、未利用地の借用にに向けた調整を土地所有者と行います。	なし	なし	休止	未利用地を活用した具体的な施設整備計画がないことから、今後の施設整備計画策定まで休止とする。
70	県スポーツ施設の借用	スポーツ課	県スポーツ施設の借用	市民がスポーツに取り組む場所を増やすため、県スポーツ施設の借用にに向けた調整を県と行います。	市内の県スポーツ施設については、県立高校、四之宮ふれあいセンターが施設開放を行っている。また、大神スポーツ広場や土沢スポーツ広場については市の管理運営で施設開放している。	なし	終了	県スポーツ広場が他にないため、本事業を終了とする。
71	民間スポーツ施設の借用	スポーツ課	民間スポーツ施設の借用	市民がスポーツに取り組む場所を増やすため、民間スポーツ施設の借用にに向けた調整を施設管理者と行います。	現在、小松製作所のグラウンド及びテニスコートを借入している。	なし	休止	民間施設は、企業独自に地域のスポーツ団体に貸し出しているおり、本事業を休止とする。
72-1	スポーツに関する情報の提供	スポーツ課	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業【再掲】	スポーツを希望する市民が「いつでも、どこでも、手軽に」ホームページから市内のスポーツ団体・イベントに関する活動情報を得ることができるようにするため、協働事業として平塚市内のスポーツ情報を取り纏めたポータルサイトを構築・運営します。	ポータルサイトの総合設計・テスト 年間訪問者(約106,500人)、年間ページビュー(約279,000件) スポーツ団体ページの作成(総計147団体) デジタル地図の作成(ウォーキングマップ37コース、サイクリングマップ5コース、市内駅伝競走大会区間コース図) コラム新設、整備	多くのスポーツ団体や施設情報の掲載を行うのみならず、スポーツ団体がイベント等の記事投稿ができる機能を整備することにより、市民が関心あるスポーツ情報を「いつでも、どこでも、手軽に」得ることができる様にサイトの構築を行うことができた。	継続	平成28年度は協働事業の3年目の年であり、概ねサイトの構築は完了することができた。今後は、サイトの運営に主眼をおき、継続して実施をしていく。そのため、スポーツのすそ野を広げる意味合いからも、協働団体に「平塚市まちづくり財団」を加え事業を進めることとした。
72-2	スポーツに関する情報の提供	平塚市まちづくり財団	スポーツタウンひらつかの発行等	スポーツに対する参加意欲を高め、健康増進へのきっかけづくりや機会の提供を図るため、「スポーツタウンひらつか」の発行やホームページを開設し、スポーツ情報を提供します。	スポーツタウンひらつか年3回発行4,000部/回 ホームページによる教室案内等の情報発信	スポーツへの興味関心を高めるとともに多くの方の教室参加に繋がり、健康の保持増進に寄与している。	継続	スポーツ情報の提供は重要なため、今後の継続する。
73	地元メディアの活用	スポーツ課	地元メディアの活用	スポーツに関する情報を広く市民に提供するため、地元メディアを活用します。	市長表敬訪問のほか、スポーツイベント等の記事掲載等がされた。	スポーツへの興味、関心を高めることに寄与した。	継続	地元メディアと連絡調整を行い、効率的な情報発信が可能となるよう、検討する。